

令和5年度 神奈川県 養介護施設従事者等による 高齢者虐待防止に係る一斉点検（実施要領）

1 趣旨

高齢者が安心して介護・福祉サービスを受けられるよう、県内の介護業務に携わる全ての職員を対象とし、日々のサービス提供状況について自己点検を実施するほか、事業所の管理者による業務及び職員管理状況の点検を実施することで、介護サービス事業所・施設等における高齢者虐待の防止並びに高齢者の権利擁護意識の向上を目指す。

2 実施対象

(1) 対象施設

ア 「介護情報サービスかながわ」のメール配信サービスで配信・周知が可能な、県内の介護保険施設・事業所等

（介護老人福祉施設、介護老人保健施設、介護付有料老人ホーム、認知症対応型共同生活介護、小規模多機能型サービス、居宅介護支援、訪問系サービス、通所系サービス、短期入所サービス、福祉用具、療養型の入所施設 等）

イ 「介護情報サービスかながわ」のメール配信サービスに未登録の施設であり、神奈川県高齢福祉課が所管している老人福祉施設

（養護老人ホーム、軽費老人ホーム、ケアハウス、住宅型有料老人ホーム）
サービス付き高齢者住宅 等

※当点検は、神奈川県内の介護業務に関わる全ての職員を対象とする。ただし、業種によって実務と設問が一致せず回答が困難な場合は、事業所内で項目を統一したうえで、回答可能な設問のみの回答とする。

(2) 対象者

ア 介護業務に携わる全ての職員（非常勤職員、人材派遣職員等を含む）

イ 事業所の管理者

3 実施期間

令和5年12月5日（火）から随時

※年1回以上の実施とする。よって、今回の通知の直前に実施している事業所は今年度実施済みとして構わないが、新たな職員の採用など職場環境に大きな変化が生じた場合などは必要に応じて再度実施されたい。

4 実施方法

(1) 周知方法

ア 介護情報サービスかながわのメール配信システム等を利用し、一斉実施に関する案内を送付する。

イ 介護情報サービスかながわの「書式ライブラリー」内に実施要領及び、自己点検シート、一斉点検実施結果書を掲載する。

(2) 自己点検実施

- ア 各施設・事業所は、スタッフ及び管理者全員を対象とし「自己点検シート（チェックリスト）」により自己点検を行う。
- イ 各自、自己点検後に「自己点検シート（チェックリスト）解説」により、自己点検の結果を自己採点する。
- ※ 参照「施設職員のための高齢者虐待防止の手引き～高齢者・家族の心に耳を傾けるケアをめざして～（平成21年3月）」は、神奈川県ホームページ上に掲載
- ウ 自己点検の結果を踏まえ、各事業所内の虐待防止委員会やミーティング、研修等でそれぞれの職員や自施設、事業所が抱える課題や改善すべき点、改善に向けた方策について話し合う。

5 点検結果の取扱いについて

(1) 結果の取りまとめ

各事業所の管理者は、点検実施後、別紙「令和5年度 高齢者施設における虐待防止に係る一斉点検実施結果書」に、点検結果等について取りまとめる。

(2) 結果報告について

点検結果について、県へ提出・報告の必要はないが、県や各自治体が実施する実地指導等の際、一斉点検の結果を踏まえたサービス提供状況等について、聴き取りを行うため、一斉点検の実施後に事業所の管理者が取りまとめ作成した「令和5年度 高齢者施設における虐待防止に係る一斉点検実施結果書」は、各施設・事業所に保管しておく。